

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

令和2年4月の待機児童ゼロを達成予定です

予算額：3,838,924千円

### 目的・概要

待機児童解消に向けて、令和2年4月までに1,054人の保育施設定員の拡大を行い、その運営費を補助します。また、待機児童ゼロの維持のため、令和3年4月までに認可保育所8園を整備します。

### 内容

#### ◎待機児童対策の取組み状況

区では平成29年9月に「新たな保育所待機児童対策の取組方針」を定め、待機児童対策に取り組んでいます。平成31年4月までに過去最大となる991人の保育施設定員を拡大し、待機児童数は79人となり、昨年度に比べ251人減少しました。

令和2年4月には、過去最大の1,054人（予定）の定員を拡大します。これまでの待機児童や新たに保育所へ入所を希望する児童を見込んだ上で、待機児童ゼロを達成する予定です。また、待機児童ゼロを維持するため、令和3年4月に向けて、引き続き、取組方針に基づき保育所整備に取り組めます。

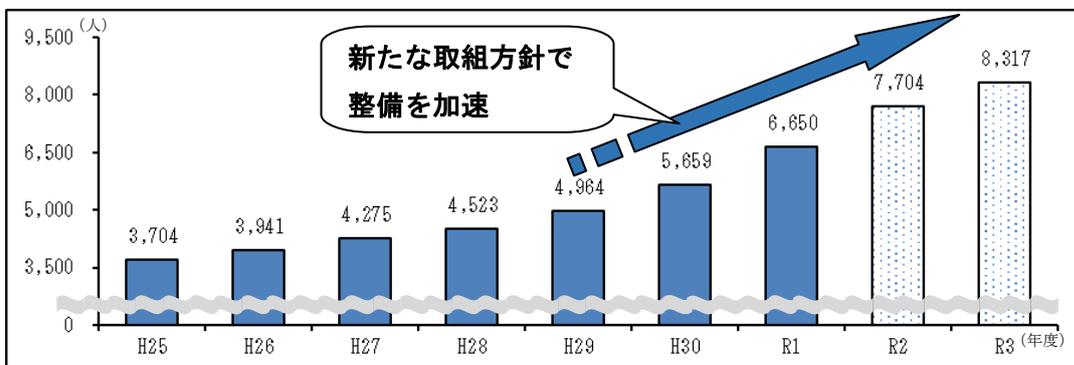
#### 【就学前人口、待機児童数及び要保育率の推移】

（単位：人）

	27年4月	28年4月	29年4月	30年4月	31年4月	令和2年4月（予定）
就学前人口	12,863	13,125	13,290	13,531	13,583	13,623
保育施設定員	4,275	4,523	4,964	5,659	6,650	7,704
待機児童数	294	299	617	330	79	0
要保育率	35.5%	36.7%	42.0%	44.3%	49.5%	56.6%

※令和2年は1月現在の就学前人口です。

#### 【保育施設定員（各年度4月1日現在）の推移】



※令和2年度以降は見込み数となります。

## ◆保育施設定員の拡大

- 1 私立認可保育所の開設支援（国公有地・賃貸物件等活用）（予算額：3,532,671千円）  
東山保育園跡地などの区有地や東山二丁目国有地を活用した認可保育所4園の整備費補助を行います。また、賃貸物件等を活用した認可保育所4園の整備費補助を行います。そのほか、令和2年度に開設する認可保育所の運営費補助を行います（実施計画事業の区独自補助含む。）。
- 2 定期利用保育事業（新設園及び専用施設）（予算額：46,313千円）  
保護者の多様な働き方に応じた保育需要への対応や待機児童対策として、令和2年4月開設の認可保育所で、開設初年度に見込まれる4・5歳児の定員の空きを利用して、定期利用保育事業を行います。また、定期利用専用施設1園において、引き続き事業を実施します。
- 3 認可外保育施設の認可保育所への移行支援（予算額：160,362千円）  
認可外保育施設から認可保育所へ認可化するための整備費を補助します。
- 4 小規模保育施設の認可化（予算額：28,000千円）  
小規模保育施設から認可保育所へ認可化するための整備費を補助します。

## ◆その他の対策

- 1 新設私立保育所の区独自補助（実施計画事業分除く）（予算額：35,815千円）  
令和2年度に開設する私立認可保育所に対し、安定的な運営の確保と入所児童の福祉の向上を図るため、運営費に加算した区独自の経費を補助します。
- 2 私立保育所の受入れ拡大に伴う経費（予算額：29,470千円）  
保育面積等に余裕がある場合において、弾力的な運用として定員を超えた受入れ枠の拡大を実施する私立認可保育所に対し、保育内容の充実に要する経費を補助します。
- 3 公設民営園の受入れ拡大に伴う経費（予算額：6,293千円）  
公設民営の認可保育所1園で定員枠を超えた弾力的な児童の受入れを行います。



### 担当所管

■ 子育て支援部 保育計画課 保育計画係

直通電話 03-5722-9866 内線番号（2793・2779）

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

### 認可外保育施設の保育料助成を拡充します

予算額：239,564千円

#### 目的・概要

認可外保育施設を利用する場合の経済的負担を軽減するため、助成区分に応じて保育料の一部を助成します。また、対象施設や助成区分・助成金額などの拡充を図ります。

#### 内容

対象施設を追加します。また、所得階層による助成区分の撤廃や多子世帯への助成金額の上乗せを行い、助成金額（幼児教育・保育の無償化との合算額）を引き上げます。

【東京都内の認証保育所、都制度の家庭的保育事業及び指導監督基準を満たす旨の証明書が交付されている東京都内の認可外保育施設を利用する場合の助成金額等】

助成区分		利用者支援	多子世帯支援	助成金額合計
0歳～2歳児クラス 課税世帯	第1子	40,000円	—	40,000円
	第2子		14,000円	54,000円
	第3子以降		27,000円	67,000円
0歳～2歳児クラス 非課税世帯	第1子	25,000円	—	25,000円 (50,000円)
	第2子	12,000円	13,000円	
	第3子以降	—	25,000円	
3歳～5歳児クラス	第1子	20,000円	—	20,000円
	第2子	10,000円	10,000円	
	第3子以降	—	20,000円	

【区内定期利用保育事業及び区内家庭福祉員を利用する場合の助成金額等】

助成区分	助成金額	
	区内定期利用保育事業	区内家庭福祉員
0歳～2歳児クラス 課税世帯	40,000円	15,000円 (ひとり親世帯に限る)
0歳～2歳児クラス 非課税世帯	50,000円	—

#### 担当所管

■ 子育て支援部 保育課 保育施設利用係

直通電話 03-5722-9868 内線番号 ( 2825 )

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

### 私立保育所の人材確保と保育の質の向上を図ります

(保育士等キャリアアップ補助事業)  
(保育士宿舍借り上げ支援事業)  
(現任保育従事職員資格取得支援事業)  
(ICT 機器導入経費の補助事業)

予算額：1,556,537千円

#### 目的・概要

保育の量的拡大を進めていく中で、喫緊の課題である保育人材の定着・確保のため、宿舍借り上げ、保育士等のキャリアアップ及び保育士資格取得を支援する補助を行います。また、ICT化を推進することで、保育士の業務負担の軽減及び保護者への情報提供の効率化を図ることにより、児童福祉の向上を図ります。

#### 内容

##### 1 保育士等キャリアアップ事業（予算額：611,282千円）

保育士等のキャリアアップに取り組む保育施設等に対して、職員の賃金改善に要する経費の補助を行います。

##### 2 保育士宿舍借り上げ支援事業（予算額：876,288千円）

保育士等の宿舍借り上げを行い保育人材の確保・定着に取り組む保育施設等に対して、借り上げに係る経費の補助を行います。区内宿舍については、区独自補助を上乗せして補助を行います。



##### 3 現任保育従事職員資格取得支援事業（予算額：300千円）

現任保育従事職員に対する保育士資格の取得支援に取り組む保育施設等へ補助を行います。

##### 4 ICT機器導入経費の補助事業（予算額：68,667千円）

保育所等において、他の機能と連動した園児台帳の作成・管理機能、指導計画の作成機能、それらと連動した保育日誌の作成機能等を有した保育業務支援システムの機能を導入することで、ICT化を推進し、保育士の書類作成等業務負担の軽減を図るとともに、保護者にとって必要な情報を把握しやすくすることによって、児童の福祉の向上を図ります。



#### 担当所管

■ 子育て支援部 保育課 保育係

直通電話 03-5722-9865 内線番号 (2782-2784-2826)

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

私立幼稚園教員に処遇改善のための補助をします

予算額：6,048千円

### 目的・概要

子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園の教員の処遇改善のための区独自補助を行います。私立幼稚園経営の一部を支援することにより、教員の離職防止やより良い人材の確保など、区の幼児教育全体の質の向上を図ります。

### 内容

私立幼稚園（新制度未移行園）の教員に対する処遇改善のための補助金です。各幼稚園の教員1人あたり年21,600円を支給します。

新制度移行幼稚園は、国で定めた基準により様々な加算が設けられ、それによって経営を行っていますが、新制度未移行園（区内私立幼稚園は全園）の経営は各園の努力によります。本施策は両者間の不均衡の改善と、新制度未移行幼稚園の経営を、教員の処遇改善により支援することで、区内の私立幼稚園の幼児教育の充実を図ります。



### 担当所管

■ 子育て支援部 子育て支援課 子育て支援係

直通電話 03-5722-9860 内線番号 ( 2761 )

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

### 産後ケア事業を推進します

～妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実～

予算額：12,780千円

#### 目的・概要

出産後のお母さんが安心して育児ができるように、専門職によるケアや授乳指導などが受けられる産後ケア事業の充実を図ります。

#### 内容

育児不安や心身の不調があり、身近に相談できる人がいないなど、支援を必要とする産後のお母さんを対象に、区が委託した助産師がご自宅を訪問し、乳房ケアや育児指導等を行う訪問型の産後ケア事業と、お母さんが赤ちゃんと一緒に区内の施設で、助産師や栄養士などの専門職からケアや育児指導等を受けられる宿泊型の産後ケア事業を実施しています。



令和2年度は訪問型、宿泊型に加え、通所型の産後ケア事業開始に向けて準備を進めます。施設等で行う通所型は、専門職によるケアや指導を受けるとともに、同じ悩みや不安を持つお母さんたちとの情報共有の場にもなります。

産後のサポート体制などをイメージし、自分に合った産後ケア事業が選択できるよう充実を図っていきます。



#### 担当所管

■ 健康推進部 碑文谷保健センター 保健相談係  
直通電話 03-3711-6447

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

### 放課後の子どもの居場所づくりを推進します

(小学校校舎等活用学童保育クラブ運営 (令和2年度開設))

(小学校校舎等活用学童保育クラブ整備 (令和3年度開設))

(児童館の拡充整備/学童保育クラブの拡充整備)

予算額：307,094千円

#### 目的・概要

子どもの数の増加や子育て家庭の生活状況の変化等に伴い、新たな子どもの放課後の居場所づくりを進めるため、放課後等を安全・安心に過ごし多様な体験・活動ができるように、放課後子ども総合プランを実施可能な小学校から順次実施していくこととしており、その本格実施を見据えて、小学校校舎等を活用した学童保育クラブの整備・運営を進めていきます。

児童の健全な育成や子育て家庭の支援等を図るため、旧法務局目黒出張所跡地に民間活力を活用して、認可保育所併設の児童館及び学童保育クラブを整備します。

#### 内容

- 1 小学校校舎等活用学童保育クラブ運営 (令和2年度開設) (予算：73,056千円)

担当所管：放課後子ども対策課

令和2年4月開設の小学校内学童保育クラブ(3校)の運営を委託します。

- 2 小学校校舎等活用学童保育クラブ整備 (令和3年度開設) (予算：145,031千円)

担当所管：放課後子ども対策課、学校運営課、学校施設計画課

令和3年4月開設予定で、小学校内学童保育クラブ(4校)の整備を進めます。

- 3 児童館の拡充整備/学童保育クラブの拡充整備 (予算：89,007千円)

担当所管：放課後子ども対策課

民間事業者による運営を実施するため、令和2年4月開設予定の旧法務局目黒出張所跡地の児童館及び学童保育クラブの運営費補助を行います。

#### 担当所管

- 子育て支援部 放課後子ども対策課 放課後子ども施設係

直通電話 03-5722-9358 内線番号 (2765)

- 教育委員会事務局 学校運営課 学事係

直通電話 03-5722-9304 内線番号 (3541)

- 教育委員会事務局 学校施設計画課 学校施設計画係

直通電話 03-5722-9307 内線番号 (3513)

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

民間事業者が実施する「地域子育てふれあいひろば」への支援を拡充します

予算額：25,611千円

### 目的・概要

地域における子育て支援の充実を図り、子育て中の保護者の孤独感や不安感を緩和し、子どもの育ちを支援するために、「地域子育てふれあいひろば事業」を実施する事業者に経費の一部を補助します。

### 内容

子育て世帯が身近な地域の中で子育てふれあいひろばを利用できるようにするため、子育てふれあいひろば事業への補助と、開設時の準備経費の補助を行い「地域子育てふれあいひろば」の拡充を図ります。

また、地域の実情に合わせた子育てふれあいひろばとするため、子育てふれあいひろばを活用した一時預かり事業（またはこれに準じた事業）や地域ボランティアの育成等を継続的に行う事業などの子育て支援を行う事業者には、実施経費の一部を事業運営費に追加して補助します。

#### 【整備の状況（令和2年1月現在）】

地区名	名称	地区名	名称
北部地区 (2か所)	菅刈保育園 小さな花の家※	南部地区 (2か所)	第二ひもや保育園 原町保育園
東部地区 (3か所)	ほ・ねっと ひろば 第二上目黒保育園 目黒保育園	西部地区 (2か所)	八雲保育園 子育てサロンココロ※
中央地区 (1か所)	上目黒住区センター児 童館	(※は民間事業者が実施する地域子育て ふれあいひろば)	

令和2年度は、公募により開設時の準備経費補助を行い、1か所の地域子育てふれあいひろばを整備する予定です。

#### 担当所管

- 子育て支援部 子育て支援課 利用者支援係  
直通電話 03-5722-9596 内線番号(2754)
- 子育て支援部 保育課 保育係  
直通電話 03-5722-9865

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

### 子ども家庭支援センターの対応力を強化します

予算額：264千円

#### 目的・概要

子ども家庭支援センターでは、児童虐待の防止と対応力を強化します。

#### 内容

- 1 目黒区子ども家庭支援センターに寄せられる児童虐待相談件数は、社会の関心の高まりもあり、平成30年度は277件にのぼり年々増加しています。児童虐待は育児不安や負担感、社会からの孤立感などのいくつもの要因が絡み合っ起こると言われています。そこで、様々な状況にあるご家庭を支援して児童虐待の防止に努め、児童虐待の通告・相談にしっかり対応していけるように、子ども家庭支援センターの組織改正を行います。
- 2 近年、日本語での対応が困難な方の相談も増えてきています。特に外国で生まれ育った方などで、日本との生活習慣の違いや子育て情報が得られにくいことによる、保護者のとまどいや悩み・相談事にしっかり対応する必要があり、訪問先での意思疎通を円滑に進めるため、自動翻訳機を導入します。
- 3 児童虐待に関する通告があった時に、自宅等に出向いて状況を確認していますが、一時保護が必要とされるような緊急時などに、訪問先から子ども家庭支援センターや児童相談所、警察等に連絡し、迅速に対応するために、携帯電話を新たに導入します。



#### 担当所管

■ 子育て支援部 子ども家庭課 子ども家庭支援センター係  
直通電話 03-5722-9743 内線番号 ( 2747 )

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

区立児童相談所開設に向けて、人材育成と課題の検討を進めます

予算額：2, 1 1 1千円

### 目的・概要

区立児童相談所の開設に向けて、福祉職及び心理職の着実な人材育成を図るとともに、勉強会や説明会などを通じて課題の検討や検討状況の周知を行っていきます。

### 内容

#### 1 人材育成への取組

将来の区立児童相談所の開設に向けて、今のうちから計画的な人材育成に取り組むことが必要です。そこで、平成30年度から区立児童相談所の職員体制を想定して、福祉職と心理職の採用を計画的に増員して、専門性のある職員の確保・育成に努めています。なお、区では平成22年度から東京都の児童相談所に職員を派遣し、子ども家庭支援センターの対応力強化を図っています。

福祉職の育成としては、引き続き児童相談所への職員派遣を継続するとともに、元児童相談所職員や児童福祉に精通した弁護士などの専門家による職員研修を実施する予定です。

心理職の育成としては、外部の研修なども活用した計画的な育成を図るとともに、子ども家庭支援センター以外の福祉・保健・教育分野などでの活用についても検討を進めます。

#### 2 勉強会・説明会の実施

区立児童相談所の開設に向けては、様々な専門家の意見を聞きながら検討を進めることが必要です。

そのため、児童相談所の運営や今後の児童福祉のあり方に精通した外部講師による勉強会を実施し、区立児童相談所の開設に向けた課題の検討を着実に進めます。

また、区民に身近な場所に児童相談所が開設されるため、区立児童相談所開設の意義や開設に向けた課題について区民の方々に理解をいただきながら、めぐろの子どもたちのためにともに検討を進めていくことが必要です。

そのため、児童相談所の開設に向けた検討状況や課題についての説明会を随時実施し、意見交換に努めていきます。

### 担当所管

■ 子育て支援部 児童相談所設置調整課 児童相談所設置調整係  
直通電話 03-5722-9627 内線番号 ( 3881 )

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

### 医療的ケア児の受入れを支援します

予算額：34,335千円

#### 目的・概要

経管栄養・痰吸引等日常生活を営むために医療を要する状態にある児童（以下「医療的ケア児」という）で、集団保育が可能な医療的ケア児を保育所等で受け入れるあたり、看護師、保健師又は助産師（以下「看護師等」という）を保育所等に配置し、保育所等における医療的ケア児受入れ環境の整備、多様な保育ニーズの充実を図ります。

#### 内容

- 1 私立認可保育所の補助（予算額：5,400千円）  
担当所管：保育課保育施設運営係  
医療的ケア児に専任の看護師等を配置した保育所等に対し、当該、看護師等雇用に係る経費の一部について補助を行います。
- 2 区立保育園看護師人材派遣経費（予算額：18,741千円）  
担当所管：保育課保育係  
保育園に入所している医療的ケア児に対し、適切な医療的行為を行うため、専門的知識を有した看護師を配置します。
- 3 学童保育クラブ看護師人材派遣経費（予算額：10,194千円）  
担当所管：子育て支援課児童館係  
学童保育クラブに入所する医療的ケアが必要な児童に対し、適切な医療的ケアを行うため、専門的知識を有した看護師を配置します。



#### 担当所管

- 子育て支援部 保育課 保育施設運営係  
直通電話 03-5722-8722 内線番号（3871）
- 子育て支援部 保育課 保育係  
直通電話 03-5722-9865 内線番号（2782）
- 子育て支援部 子育て支援課 児童館係  
直通電話 03-5722-9861 内線番号（2767）

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

重症心身障害児（医療的ケアを含む）通所支援事業を実施します

予算額：50,614千円

### 目的・概要

重症心身障害児（医療的ケアを含む）を対象とした児童発達支援及び放課後等デイサービス事業を実施します。

### 内容

医学の進歩を背景として、新生児集中治療室（NICU）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童（以下「医療的ケア児」という。）が増加しています。

区内で重症心身障害児（医療的ケア児を含む）の通所支援を提供できる体制を確保するため、令和2年7月から目黒区心身障害者センターあいアイ館内で、重症心身障害児（医療的ケア児を含む）を対象とした児童福祉法に基づく児童発達支援及び放課後等デイサービスを実施します。



### 担当所管

■ 健康福祉部 障害福祉課 身体障害者相談係  
直通電話 03-5722-9108 内線番号（2697）

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

### 医療的ケア指導医の配置等を行います

予算額：9,325千円

#### 目的・概要

近年増加傾向にある医療的ケアを必要とする児童・生徒への学校における医療的ケアを安全かつ適切に実施するため、学校に対して指導や助言を行う医療的ケア指導医の配置等を行うとともに、人材派遣委託による看護師配置を拡充します。

#### 内容

##### 1 医療的ケア指導医の配置等による支援体制整備（予算額：718千円）

学校における医療的ケアについて指導や助言を得るために、医療的ケアや在宅医療に知見のある医療的ケア指導医を配置し、医療安全を確保するための十分な支援体制を整えます。また、医療的ケアを必要とする児童・生徒の主治医と学校との連携を密にするため、主治医の学校派遣を拡充します。

##### 2 人材派遣による小・中学校への看護師配置を拡充（予算額：8,607千円）

看護師を継続して安定的に確保することにより、医療的ケアを必要とする児童・生徒への学校における医療的ケアを安全かつ適切に実施します。



#### 担当所管

■ 教育委員会事務局 教育支援課 特別支援教育係  
直通電話 03-5722-9322 内線番号（3579）

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

学校における児童・生徒の安全対策を推進します

予算額：16,816千円

### 目的・概要

登下校時における児童・生徒の安全・安心を確保するため、区立小学校の登下校区域に防犯カメラを整備します。また、区立小・中学校の児童・生徒の熱中症対策としてテントを整備します。

### 内容

#### 1 登下校区域防犯カメラ整備（予算額：8,328千円）

学校、地域等が行う児童の見守り活動を補完し、通学路における児童の安全確保に資するため、平成28年度までに各小学校の通学路に1校当たり5台、合計110台の防犯カメラを整備しました。

令和2年度は、新たに東京都の補助事業を活用し、区立小学校の登下校区域に15台の防犯カメラを整備します。

#### 2 熱中症対策用テントの整備（予算額：8,488千円）

夏季の記録的な猛暑により、長時間の屋外活動時における熱中症対策の必要性が高まる中、近年は、区立小・中学校の運動会・体育祭の開催時期に酷暑となる日が増えていきます。

令和2年度は、長時間の屋外活動時における児童・生徒の熱中症対策としてワンタッチテントを整備します。



<防犯カメラのイメージ>

### 担当所管

■ 教育委員会事務局 学校運営課 学事係

直通電話 03-5722-9304 内線番号（3541）

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

学校における働き方改革を推進します

予算額：48,204千円

### 目的・概要

教職員一人ひとりが勤務時間を意識した働き方を進めるとともに、業務の適正化、教職員の負担軽減を図るため、「目黒区立学校（園）における働き方改革実行プログラム」の取組を進めます。

### 内容

- 1 学校徴収金管理システムの導入（予算額：17,314千円）**担当所管：教育政策課**  
教職員の負担軽減と会計事故防止の一層の徹底を図るため、学校徴収金（給食費・教材費等）業務を一体的に管理できるシステムを導入します。
- 2 教職員出退勤管理システムの導入（予算額：23,298千円）**担当所管：教育指導課**  
教職員の実働勤務時間を客観的に把握するとともに、勤怠管理業務を担っている副校長の負担軽減を図るため、出退勤管理システムを導入します。
- 3 教職員研修体制の拡充（予算額：4,213千円）**担当所管：教育指導課、教育支援課**  
教員の資質・能力の向上及び学校の働き方改革の一環として平成30年度に導入した教員用eラーニングシステムを令和2年度においても集合研修の一部代替として実施します。
- 4 副校長補佐の配置に伴うパソコンの購入（予算額：3,379千円）**担当所管：教育指導課**  
副校長の業務負担を軽減するための「副校長補佐」を配置することに伴い、その業務で使用するパソコンを購入します。

### 担当所管

- 教育委員会事務局 教育政策課 教育総務係  
直通電話 03-5722-9302 内線番号（3503）
- 教育委員会事務局 教育指導課 教職員係  
直通電話 03-5722-9311 内線番号（3581）
- 教育委員会事務局 教育指導課 指導主事  
直通電話 03-5722-9313 内線番号（3588）
- 教育委員会事務局 教育支援課 めぐる学校サポートセンター  
直通電話 03-3715-1531

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

日帰り体験型英語学習事業（小・中学校）を拡充します

予算額：10,624千円

### 目的・概要

中学生の希望者を対象に実施している東京版英語村（TOKYO GLOBAL GATEWAY）を活用した日帰り体験型英語学習事業を区立小学校第6学年に拡充します。

### 内容

普段の学習環境である教室を離れて、集中的にイングリッシュスピーカーとの英語によるコミュニケーションをとる機会として、東京版英語村（TOKYO GLOBAL GATEWAY）を活用した日帰り体験型英語学習事業を実施します。

令和元年度は中学生の希望者を対象に実施しましたが、令和2年度は区立小学校第6学年児童を対象に拡充します。



### 担当所管

■ 教育委員会事務局 教育指導課 指導事務係

直通電話 03-5722-9312 内線番号（3585）

## 2 子育て支援の充実と教育の振興

### 東京2020大会開催に合わせた特別給食を実施します (小・中学校)

予算額：10,684千円

#### 目的・概要

東京2020大会開催の機会を捉え、世界の料理等を取り込んだ特別給食の回数を増やし、学校給食を通じて食育を推進します。

#### 内容

食育推進の一環として、日本の伝統行事にちなんだ行事食や友好都市を含む各地の郷土料理、国際理解を深めるための世界の料理などを取り込んだ特別給食を平成21年度から実施しており、その食材費を教育委員会が負担しています。

令和2年度は、東京2020大会の開催にあたり、オリンピック・パラリンピック教育の推進や国際理解への機運を醸成するため、世界の料理等を取り込んだ特別給食の回数を増やし、学校給食を通じて食育を推進します。



目黒区とケニア共和国大使館は、東京2020大会への機運醸成の一つとして、ホストタウン事業にかかる覚書を調印しています。ケニア共和国出身の「ローレンス・グレ」選手を緑ヶ丘小学校に迎えて交流学習の授業が行われた際の特別給食です。

<特別給食：ケニア共和国の料理)>

#### 担当所管

■ 教育委員会事務局 学校運営課 保健給食・健康係  
直通電話 03-5722-9306 内線番号 (3551)

白紙のページです。